



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№22

令和2年11月30日

持久走記録会を開催しました

11月26日(木)、持久走記録会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、業間駆け足の中止をはじめ、従来のマラソン大会を取りやめ、内容を変更して実施しました。運動場のトラックを5分間で何周走れるかという持久力の測定を行いました。密にならないように各学年を4グループに分け、測定しまし



4年生



5年生



6年生

た。体育の時間に、練習を積み重ねてきた成果を発揮して、それぞれが自分の目標に向かってチャレンジしていました。

マラソンは、誰かに抜かれたり、順位が落ちたりしても、走るのをやめずに、自分の目標タイムにむかって、自分のペースで最後まで走りぬくことが大切なのです。最後まで走りぬくことができた達成感を忘れずに、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。

また、応援していただいた保護者の皆様、留意事項にご協力いただき、無事終了することができました。ありがとうございました。



1年生



2年生



3年生

大木中学校区リモート交流会

毎年度、大木中校区4校の特別支援学級は、それぞれの学校に出向き交流会を開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、一堂に集まるのを取りやめ、リモートによる交流会を実施しています。11月24日(火)に、2回目のリモート交流会がありました。今回は、それぞれができるようになったことや得意なことを披露しました。若松小学校の4名は、リコーダーの演奏や日記の紹介をしました。みんな堂々と発表していました。楽しい交流会となりました。



5年生 ライスセンター見学

11月24日(火)に5年生が、米作り指導者の伊藤さんが経営されているライスセンターを見学させていただきました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校のため、田植えが中止になり、観察が思うようにできなかったのですが、「米ができるまで」についてくわしく説明を受け、子どもたちは興味をもって多くの質問をしていました。機械が稼動しているところを見学できなかったのは残念でしたが、収穫した粳の乾燥、粳摺り、選別、袋詰めをこなすという機械の性能や大きさに驚いていました。



大木中学校区合同学校運営協議会 開催

11月26日(木)16時30分から大木中学校において、大木中、長太小、箕田小、若松小の学校運営協議会委員が一堂に会し、大木中学校区合同学校運営協議会が開催されました。「三重県教育委員会 地域とともにある学校づくりサポーター 鈴木逸郎さん」を講師に迎えて講演会を行いました。概要は次のとおりです。

◇これからの子どもたちには、厳しい挑戦の時代を乗り越え、高い志や意欲をもつ自立した人間として、他者と協働しながら未来を創り出し、課題を解決する力が求められている。

◇子どもたちの生きる力は、学校だけで育まれるものではなく、多様な人との関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれるものである。

◇学校が抱える課題は複雑化・困難化している状況にある。困難な課題を解決していくためには、より一層地域に開かれた信頼される学校づくりを進めていく必要がある。

◇保護者や地域住民が学校運営に積極的に参画することで、学校をよりよいものにしていくという当事者意識を高め、子どもの教育に対する責任を分担する。

◇学校と地域との協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域のつながりを深め、コミュニティの形成・活性化に発展する。

◇平素から学校と地域の関係づくりは、子どもたちを守り、地域を守ることにもつながる。

◇保護者や地域との関係づくりは、教職員それぞれがカギを握っている。

◇複雑化・困難化した課題に対応するため、教職員が専門家や関係機関、地域と連携し、チームとして課題解決に取り組む。

◇学校は「子どもの学び場」、「大人の学び場」である。学校づくりは地域づくりである。

◇人が元気であればこそ、まちは元気になる。まちの元気を育むには、人が元気なこと、人が育つことによって、まちも育っていく。



考えよう 家族みんなで スマホのルール

私たちは子供たちの
情報モラル育成に取り組みます

大木中学校区
学校運営協議会



文部科学省